

令和 6 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 無所属

氏 名 前田 由美

項 目	調査研究費		
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	1 / 8	97,340	調査視察 旅費・宿泊費（岡山県岡山市、兵庫県姫路市） （日程・視察先・視察内容等は調査視察等届出書に記載）
	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇄岡山80,100円 岡山市宿泊代9,840円 姫路市宿泊代7,400円
2	6 / 19	50,020	調査視察 旅費・宿泊費（東京都） （日程・視察先・視察内容等は調査視察等届出書に記載）
	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇄東京30,820円 東京都宿泊代19,200円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		147,360	備 考
合 計		147,360	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年11月21日

会派名 無所属

代表者名 前田由美様

氏名 前田由美



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 前田由美 議員
- 2 期 間 令和7年1月8日(水)～10日(金)
- 3 場 所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市
- 4 目的及び内容 岡山県岡山市
岡山連携中枢都市圏について
兵庫県姫路市
播磨圏域連携中枢都市圏について

5 支出可能額（上限額） 105,760円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	1/8	本八戸駅発 8:45	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
き	1/8	岡山駅 着 15:46	早見表						
帰	1/10	姫路駅 発 8:53							
り	1/10	本八戸駅着 15:34							
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	1,370.9k	15,620	28,100	本八戸⇄岡山（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京（631.9k）
						1	6,570	6,570	東京→岡山（732.9k）
						2	△200	△400	閑散期割引（1/8）
						1	1,760	1,760	岡山→姫路（88.6k）
						1	△200	△200	閑散期割引（1/9）
						1	6,030	6,030	姫路→東京（644.3k）
					急				
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京（631.9k）
						1	6,600	6,600	東京→岡山（732.9k）
						1	1,300	1,300	岡山→姫路（88.6k）
						1	6,600	6,600	姫路→東京（644.3k）
				航空運賃					
				岡電バス		2	120	240	岡山駅⇄岡山市役所前
				神姫バス		2	210	420	姫路駅⇄姫路市役所前
宿泊料		2	12,500	25,000	1/8 岡山市、1/9 姫路市				
小 計					105,760				
合 計（小計×人数）					105,760	1 名			

■場所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市

月日	行程																																																																		
1/8 (水)	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">本八戸駅</td><td>JR八戸線 八戸行</td><td rowspan="2">八戸駅</td><td>JR新幹線はやぶさ 14号 東京行</td><td rowspan="2">東京駅</td><td>JR新幹線のぞみ 33号 横浜行</td><td rowspan="2">岡山駅</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">宿泊先</td></tr> <tr> <td>(10分)</td><td>(179分)</td><td>(1230発)</td><td>(196分)</td><td>(1546着)</td><td>(1605着)</td><td>(5分)</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td colspan="2">6.1km</td><td colspan="2">631.9km</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">岡山市内</td></tr> </table>										本八戸駅	JR八戸線 八戸行	八戸駅	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行	東京駅	JR新幹線のぞみ 33号 横浜行	岡山駅	徒歩	宿泊先	(10分)	(179分)	(1230発)	(196分)	(1546着)	(1605着)	(5分)			6.1km		631.9km				岡山市内																																
本八戸駅	JR八戸線 八戸行	八戸駅	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行	東京駅	JR新幹線のぞみ 33号 横浜行	岡山駅	徒歩	宿泊先																																																											
	(10分)		(179分)		(1230発)				(196分)	(1546着)	(1605着)	(5分)																																																							
		6.1km		631.9km				岡山市内																																																											
1/9 (木)	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">宿泊先</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">岡山駅</td><td>岡電バス大学病院線 大学病院行</td><td rowspan="2">岡山市役所前 (バス停)</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">岡山市役所 (バス停)</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">岡山市役所前 (バス停)</td><td>岡電バス大学病院線 岡山駅行</td><td rowspan="2">岡山駅</td><td>JR新幹線ひかり 510号 東京行</td></tr> <tr> <td>(4分)</td><td>(1分)</td><td>(1分)</td><td>(9分)</td><td>(31分)</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td colspan="2">1.2km</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">1.2km</td><td colspan="2">88.6km</td></tr> </table> <table border="0"> <tr> <td rowspan="2">姫路駅</td><td>神姫バス 姫路市役所南行</td><td rowspan="2">姫路市役所前 (バス停)</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">姫路市役所</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">姫路市役所前 (バス停)</td><td rowspan="2">神姫バス 姫路駅行</td><td rowspan="2">姫路駅</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">宿泊先</td></tr> <tr> <td>(3分)</td><td>(1分)</td><td>(1分)</td><td>(9分)</td><td>(5分)</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td colspan="2">1.2km</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr> </table> ■岡山市役所 (9:45~11:15) 岡山連携中核都市圏について ・担当者 松林 様 ・連絡先 086-803-1536 ・所 在 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 ■姫路市役所 (13:30~15:30) 播磨圏域連携中核都市圏について ・担当者 多田 様 ・連絡先 079-221-2034 ・所 在 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 本庁舎議会議棟3階										宿泊先	徒歩	岡山駅	岡電バス大学病院線 大学病院行	岡山市役所前 (バス停)	徒歩	岡山市役所 (バス停)	徒歩	岡山市役所前 (バス停)	岡電バス大学病院線 岡山駅行	岡山駅	JR新幹線ひかり 510号 東京行	(4分)	(1分)	(1分)	(9分)	(31分)			1.2km						1.2km		88.6km		姫路駅	神姫バス 姫路市役所南行	姫路市役所前 (バス停)	徒歩	姫路市役所	徒歩	姫路市役所前 (バス停)	神姫バス 姫路駅行	姫路駅	徒歩	宿泊先	(3分)	(1分)	(1分)	(9分)	(5分)			1.2km									
宿泊先	徒歩	岡山駅	岡電バス大学病院線 大学病院行	岡山市役所前 (バス停)	徒歩	岡山市役所 (バス停)	徒歩	岡山市役所前 (バス停)	岡電バス大学病院線 岡山駅行	岡山駅				JR新幹線ひかり 510号 東京行																																																					
			(4分)						(1分)		(1分)	(9分)	(31分)																																																						
		1.2km						1.2km		88.6km																																																									
姫路駅	神姫バス 姫路市役所南行	姫路市役所前 (バス停)	徒歩	姫路市役所	徒歩	姫路市役所前 (バス停)	神姫バス 姫路駅行	姫路駅	徒歩	宿泊先																																																									
	(3分)										(1分)	(1分)	(9分)	(5分)																																																					
		1.2km																																																																	
1/10 (金)	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">宿泊先</td><td rowspan="2">徒歩</td><td rowspan="2">姫路駅</td><td>JR新幹線のぞみ 84号 東京行</td><td rowspan="2">東京駅</td><td>JR新幹線はやぶさ 23号 新国府北斗行</td><td rowspan="2">八戸駅</td><td rowspan="2">JR八戸線・姫行</td><td rowspan="2">本八戸駅</td></tr> <tr> <td>(181分)</td><td>(164分)</td><td>(8分)</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td colspan="2">644.3km</td><td colspan="2">631.9km</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">6.1km</td></tr> </table>										宿泊先	徒歩	姫路駅	JR新幹線のぞみ 84号 東京行	東京駅	JR新幹線はやぶさ 23号 新国府北斗行	八戸駅	JR八戸線・姫行	本八戸駅	(181分)	(164分)	(8分)			644.3km		631.9km				6.1km																																				
宿泊先	徒歩	姫路駅	JR新幹線のぞみ 84号 東京行	東京駅	JR新幹線はやぶさ 23号 新国府北斗行	八戸駅	JR八戸線・姫行	本八戸駅																																																											
			(181分)		(164分)				(8分)																																																										
		644.3km		631.9km				6.1km																																																											

令和7年1月22日

会派名 無所属

代表者名 前田由美様

氏 名 前 田 由 美



調査視察等報告書

令和6年11月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告しま
す。

- | | |
|-------|--------------------|
| 1 旅行者 | 前 田 由 美 議員 |
| 2 期 間 | 令和7年1月8日(水)～10日(金) |
| 3 場 所 | 岡山県岡山市、兵庫県姫路市 |
| 4 行 程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 97,340円 |
| 6 概 要 | 別紙のとおり |

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 視察行程

■日程 令和7年1月8日(水)～令和7年1月10日(金)

■場所 岡山県岡山市、兵庫県姫路市

月日	行程						宿泊先		
1/8 (水)	本八戸駅 JR八戸線 八戸行 8:45発	八戸駅 JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 8:55着 9:05発	東京駅 JR新幹線のぞみ 33号 博多行 12:08着 12:30発	岡山駅 JR新幹線のぞみ 33号 博多行 13:48着	移動	宿泊先	岡山市内		
1/9 (木)	宿泊先 9:30発	移動	岡山市役所 9:45着 10:15発	岡山駅 JR新幹線ひかり 510号 東京行 11:30着 12:56発	移動	姫路市役所 13:30着 15:30発	移動	姫路市役所 13:30着 15:30発	姫路市内
■岡山市役所 (9:45～11:15) 岡山連携中枢都市圏について ・担当者 松林 様 ・連絡先 086-803-1536 ・所在 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 ■姫路市役所 (13:30～15:30) 播磨圏域連携中枢都市圏について ・担当者 多田 様 ・連絡先 079-221-2034 ・所在 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地 本庁舎議会議棟3階									
1/10 (金)	宿泊先 8:30発	徒歩	姫路駅 JR新幹線のぞみ 84号 東京行 8:35着 8:53発	東京駅 JR新幹線はやぶさ 23号 新函館北斗行 11:54着 12:20発	八戸駅 JR八戸線・秋行 15:04着 15:26発	本八戸駅 15:34着			

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅 費	整理番号																				
領収書等貼付欄																								
領 収 証 No.123679 2025年 1 月 22 日 前田 由美 様 <table border="1"><tr><td>金 額</td><td></td><td></td><td>¥</td><td>9</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>0</td></tr></table> 但し 1/8~10 7R 宿泊代 1412 10%対象(税込) 97340 0%対象 内 消費税 8849 円 上記の金額正に領収致しました。 <table border="1"><tr><td>現 金</td><td>✓</td></tr><tr><td>小切手</td><td></td></tr><tr><td>振 込</td><td></td></tr><tr><td>クレジット</td><td></td></tr></table> 北日本トラベル 株式 会社 登録番号 T1420001005756 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F TEL (0178) 22-5151(代) <table border="1"><tr><td>扱 者 印</td></tr><tr><td></td></tr></table>						金 額			¥	9	7	3	4	0	現 金	✓	小切手		振 込		クレジット		扱 者 印	
金 額			¥	9	7	3	4	0																
現 金	✓																							
小切手																								
振 込																								
クレジット																								
扱 者 印																								
																								

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

八戸圏域連携中核都市圏形成促進議員連盟 様

令和6年

北日本トラベル株式会社

店長 大

青森県八戸市

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 4名 計 4名
ご旅行期間 令和7年1月8日～1月10日
ご旅行方面 岡山県岡山市・兵庫県姫路市
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 389,360円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	4	80,100	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	320,400	1/8 本八戸/八戸～東京～岡山(往復)
宿泊代	4	9,840	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	39,360	1/8 岡山フシノホテルデラザ
	4	7,400	立花議員・坂本議員・豊田議員・前田議員	29,600	1/9 コンフォートホテル姫路 ※1/7 坂本議員キャンセル
明細金額小計				389,360	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				389,360	消費税10% 35,396円

特記事項 宿泊：シングルルーム 朝食付

視察報告書

1. 日時

令和7年1月9日(木) 9:45～11:15

2. 視察地・視察内容

岡山県岡山市「岡山連携中枢都市圏について」

3. 視察対応

岡山市政策局政策部政策企画課

課長 高木 信二郎 氏

課長補佐 上田 雅貴 氏

4. 参加議員

前田 由美

5. 視察目的

岡山連携中枢都市圏の取り組みや、岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級の運営方法について調査し、地域の課題解決や教育支援の在り方を学ぶことを目的とする。また、当市における広域連携の可能性や教育支援の拡充について検討するための参考とする。

6. 視察調査概要

岡山連携中枢都市圏では、中心市と周辺市町村が協力し、以下の重点施策に取り組んでいる。

- ・ 人口減少や高齢化への対応
医療・福祉の連携を強化し、住民がどの地域に住んでいても質の高いサービスを受けられる体制を構築している。
- ・ 観光振興と地域経済活性化
地域特産品の販売促進や広域観光ルートの開発を通じた経済波及効果の創出を図っている。
- ・ 交通インフラの整備
公共交通の最適化と広域交通網の充実による利便性向上を目指している。

また、岡山市立岡山後楽館中学校夜間学級についても説明を受けた。この学級では、さまざまな事情により義務教育を修了できなかった人々に教育機会を提供することを目的とし、外国籍の方や高齢者も含め幅広い方々の入学が予定されている。

8. 所感

岡山連携中枢都市圏の取り組みについて伺いました。八戸市と課題は共有しており、人口減少や高齢社会への対応、経済の発展の為には観光振興にも力を入れることなど、市単独ではなく、周辺市町村が協力して、活性化に繋げなければなりません。また、住民サービスの向上に関しても、医療や福祉の連携を充実させ、交通インフラの整備によって生活の利便性が向上することで、住民の生活の質が向上します。八戸においては、市営バスの運営も赤字です。しかしながら、赤字だとしても住民の足となっているバス事業から撤退できるわけでもなく、全国的にも歯がゆい課題だと感じました。

また、観光振興においても、いかに観光客を誘致できるのか、八戸三社大祭やえんぶりだけではなく、館鼻朝市や種差海岸は通年を通して観光の目玉です。今まで以上に周知活動や観光イベントの発信にも力を入れていく必要性を感じました。市の財源にも限りがあります。最近よく言われますが、八戸も、稼げる自治体を目指して進んでいかなくてはならないと強く感じました。

視察報告書

1. 日時

令和7年1月9日(木) 13:30~15:30

2. 視察地・視察内容

兵庫県姫路市「播磨圏域連携中枢都市圏について」

3. 視察対応

姫路市政策局ひめじ創生戦略室

主幹 木村 規彦 氏

主事 走出 有紀 氏

4. 参加議員

前田 由美

5. 視察目的

播磨圏域連携中枢都市圏の取り組みを調査し、地域間連携の強化や、経済・福祉の充実に向けた施策の具体的な運用方法を学ぶことを目的とする。また、姫路市が進めている、地域の課題解決のための実践的な取り組みとその効果についても調査する。

6. 視察調査概要

播磨圏域連携中枢都市圏では、姫路市を中心に周辺の市町と協力し、以下の施策が進められている。

○ 地域情報発信とブランド確立

播磨圏域の情報発信強化と、地域ブランドの確立を推進。これにより、播磨圏域の魅力を外部に伝え、地域への訪問者や投資を促進。

○ 企業誘致の推進

企業誘致の取り組みを強化し、地域経済の活性化を目指す。特に、姫路市周辺の優れた交通アクセスを活かして企業活動を支援。

○ 広域観光の推進

播磨圏域の観光資源を結びつけた広域観光ルートの開発とプロモーションを行い、観光客の誘致を推進。

○ 姫路市文化コンベンションセンターの整備

文化や商業活動の促進を図るため、姫路市文化コンベンションセンターの整備を進めている。

○ 手柄山駅の整備

地域の交通利便性を向上させるため、手柄山駅の整備を進め、周辺地域の活性化を図っている。

- **公立夜間中学による就学機会の提供**
地域住民に対して、就学機会を提供するための公立夜間中学の設立と運営。
- **図書館の相互利用促進**
周辺市町村との連携を強化し、図書館資源の相互利用を促進。
- **救急搬送支援システムの広域化**
もっとも注目される施策のひとつは、救急搬送支援システムの広域化であり、複数の市町が連携し、効率的で迅速な救急搬送体制を構築している。姫路市を中心に広がるこのシステムは、地域の医療機関や消防機関との協力を強化し、搬送のスムーズさを向上させるとともに、救命率の向上を目指している。これにより、救急対応の品質が地域全体で均等に保たれることとなり、住民の生命を守るための重要な基盤となっている。
- **広域連携バス路線網の維持・形成**
広域的な交通網の充実を目指し、バス路線の整備・維持を行い、住民の移動の利便性を向上させる。

7. 所感

播磨中枢都市圏の取り組みの中で、私が特に気になった事は、公立夜間中学による就学の機会を提供したことです。

全国的に夜間中学の必要性が議論となり、各自治体、NPO や民間などで開設された話はニュース等にもなっているのを見ることもありましたが、圏域で開設することは、今後、他地域でも取り組むきっかけになるような気がします。

お話を聞く中で、若い方から 80 代の方まで入学しているとのことでした。無事に卒業まで健康を維持して学ぶことが出来るか不安もあるとのことでしたが、高齢になっても目標を持って生活を送れるということは幸せであろうかと思います。

青森県は、夜間中学は開設検討中となっておりますので、改めてその動向を注視していきたいと感じました。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年5月29日

会派名 無所属

代表者名 前 田 由 美 様

氏 名 前 田 由 美



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 前 田 由 美 議員
- 2 期 間 令和6年6月19日(水) ～ 令和6年6月20日(木)
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟視察
「連携中枢都市圏の推進について」
- 5 支出可能額(上限額) 54,860円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 視察日程表

・日 程:令和6年6月19日(水)～6月20日(木)

・場 所:東京都千代田区

月 日	行 程	宿 泊
6/19 (水)	13:56 発 本八戸 — JR八戸線 — 八戸 — JRはやぶさ28号 — 東京 17:04 着	東京都内
6/20 (木)	9:30 総務省前集合 9:30 ~ 入館手続き 9:45 ~ 10:20 総務省自治行政局市町村課 勉強会 「連携中枢都市圏の推進について」 10:30 ~ 10:45 自治行政局官房総括審議官 海老原 諭 氏との意見交換会 13:20 発 東京 — JRはやぶさ25号 — 八戸 — JR八戸線 — 本八戸 16:30 着	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎				
行			区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	6/19	本八戸駅発 13:56	早見表				
	6/19	東京駅着 17:04					
帰	6/20	東京駅発 13:20					
り	6/20	本八戸駅着 16:30					
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	638.0k	9,790	17,620	本八戸⇄東京（往復割引）
			急 行 料 金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				2	△200	△400	閑散期割引（6/19, 6/20）
			急				
			特別車両 料 金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃				
			バス運賃				
			宿泊料	1	13,900	13,900	6/19 東京都内泊
			小 計			54,860	
			合 計（小計×人数）			54,860	1名

令和6年6月21日

会派名 無所属

代表者名 前田由美様

氏 名 前 田 由 美



調査視察等報告書

令和6年5月29日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 前 田 由 美 議員
- 2 期 間 令和6年6月19日(水) ～ 令和6年6月20日(木)
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 行 程
6月19日 本八戸～JR～八戸～JR～東京
6月20日 東京～JR～八戸～JR～本八戸
- 5 支出額 50,020円
- 6 概 要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研 修 費	費 目	旅 費	整理番号	
領収書等貼付欄					

領 収 証

2024年 6月19日

前田 由美 様

金30,820円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

八戸801 No.000002

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研 修 費	費 目	旅 費	整理番号	
領収書等貼付欄					

株式会社京急イーエックスイン
登録番号 T9010401070244

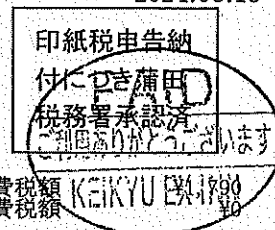
領 収 書
Receipt

No. 202406190357 C
2024.06.19

前田 由美

様

¥19,200



上記正に領収致しました

但、クレジット分 ¥19,200 を含みます クレジット払い

(内消費税 Con.Tax ¥1,790)

(10%対象

¥19,700)

(8%対象

10%消費税額

¥0) 8%消費税額

株式会社京急イーエックスイン 羽田イノベーションシティ
〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-1-4
TEL 03-5579-7230 FAX 03-5579-7256

KEIKYU EX INN

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 無所属 前田由美

項 目	調査研究費			
年 月 日	令和6年6月20日（木）			
場 所	総務省（東京都千代田区霞が関二丁目1番2号）			
相 手 方	総務省大臣官房総括審議官 海老原 諭 氏 総務省自治行政局市町村課長 原 昌史 氏 総務省自治行政局市町村課 課長補佐 浅見 仁 氏			
参加者氏名	前田 由美			
目的・内容・結果等	人口減少社会において、地方から都心への人口流出を食い止めると同時に経済を安定させ、持続可能な地域社会をつくることが連携中枢都市圏を構築する目的である。地方公共団体はかつて、市町村合併を繰り返し講じることによって地方行政の整備を進めてきたが、社会の多様性に対応する観点から、自治体行政の在り方自体を見直す必要がでてきた。合併により、1つの自治体として一元化するのではなく、複数の自治体が独立性を保ちながら、特定分野や事業で協力・連携することで、地域特性やニーズに応じた連携体制を構築することが可能となるのである。2040年問題を見据えた今、連携中枢都市圏構想の推進は非常に重要である。			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	旅 費	JR往復料金（東京―八戸）	30,820 円	
	旅 費	宿泊費（1泊）	19,200 円	
			円	
			円	
備 考				

研修の概要

【1. 日本の人口の推移・2040年の課題】

- 我が国の人口は、戦後、増加を続けていたが、2008年の1億2808万人をピークに減少局面に入った。
- 2040年には1億1092万人（2008年比▲13.4%減）となり、65歳人口は、2042年に3935万人でピークを迎える。
- 出生率は、第2次ベビーブームをピークに一貫して減少しており、近年は年間100万人を下回っている。
- 合計特殊出生率も、一時は上昇傾向にあったが、平成28年から再び低下基調に転じている。
- 人口構造は、2040年には団塊世代および団塊ジュニア世代が高齢者となっており、人口ピラミッドは、いわゆる棺おけ型になる。
- 2040年までの課題として、老朽化したインフラ・公共施設の大幅な増加、公営企業の料金の上昇、乗り合いバスや鉄道の廃止路線の増加、集落機能の維持が困難になるおそれ等が懸念されている。
- 労働力においては、高齢者と女性、若者の労働参加が進まなければ、労働力不足が顕著となる。また、就職氷河期世代は長期にわたり給与が低い傾向にある。そして、地方においては労働集約型サービス産業が増加する。
- 地方公共団体の専門人材の状況として、小規模市町村においては、専門職員が配置されない、又は配置されたとしても小人数しか配置されない状況がある。

【2. 市町村合併から広域連携へ】

- 市町村は、市制町村制（明治22年）以降、合併や広域連携施策を繰り返し講じることによって、人口増加や経済成長、地方分権に伴う行政需要の増大・高度化に対応できる地方行政体制の整備を進めてきた。
- 今後は、人口減少に対応する観点から、自治体行政の在り方を見直す必要がある。
- 2040年頃にかけて生じる人口構造の変化やインフラの老朽化等の変化・課題に的確に対応し、持続可能な形で住民生活を支えるためには、地方公共団体がそれぞれの強みを活かし、資源を融通しあうなど、地域の枠を超えた連携が重要である。
- 他の地方公共団体との連携は、地域の実情に応じ、市町村間の広域連携、都道府県による補完・支援など、多様な手法の中から、最も適したものを選択することが適当である。

【3. 連携中枢都市圏構想の取組】

1. 連携中枢都市及び連携市町村の取組に関する包括的財政措置
 - ①普通交付税措置
 - ②特別交付税措置
 - ③連携市町村への交付税措置
2. 地域活性化事業債の充当
3. 外部人材の活用に対する財政措置
4. 民間主体の取組の支援に対する財政措置
 - ①民間への融資等を行うファンド形成に関する財政措置
 - ②ふるさと融資の融資比率及び融資限度額の引き上げ
5. 個別の施策分野における財政措置
 - ①病院連携等による地域医療の確保に対する財政措置
 - ②へき地における遠隔医療に対する特別交付税措置の拡充
6. 連携中枢都市圏の形成に対応した辺地度点数の算定要素の追加

【4. 広域連携の深化に向けて】

- 連携中枢都市圏におけるPDCAサイクルを確立するには、適切なKPIを設定・管理することが重要である。
- 従来の一般的な計画等では十分着目されてこなかった「地域の課題に気付きを与えるもの」として「地域の未来予測」を作成し、議論を重ね、様々な政策や計画に反映する。
- 「地域の未来予想」では、各市町村において、将来、具体的にどのような資源制約が見込まれるのか、その行政需要や経営資源に関する長期的な変化の見通しを、客観的なデータをもとにして整理し、議論を重ね、ビジョンを共有することが重要。
- 「地域の未来予想」では、人口構造の変化や施設・インフラのほか、これらの影響を大きく受けるものとして、「子育て・教育」「医療・介護」「公共交通」「衛生」「消防・防災」「空間管理」を対象としている。
- 新型コロナウイルス感染症は、これまで十分対応できていなかった課題が顕在化した。DX化もその一例であり、ポストコロナの経済社会に対応する地方制度の整備は急務である。

【所感】

今回、総務省自治行政局市町村課でお話を聞くことが出来ましたが、国は現在進みつつある人手不足がこれからますます進むため、出来るだけデジタルを活用して、利便性を上げ、どこにいても公共サービスを受けられるようにしていきたい、そして各自治体だけにとどまらず、圏域においてもデジタル技術を活用してほかの自治体の施設の予約や図書館での本の貸し出しなどを出来る体制を構築していきたいと話していました。

その中でも八戸圏域は比較的うまくいっているとのことで、ドクターカーの運行や圏域公共交通の再編成などが、紹介されておりました。更に広域連携の深化に向けてでは、都道府県と市町村の連携や、複数自治体共同で、公共施設を集約化・複合化するなども必要であるとのお話を聞くことが出来ました。

まさに今、青森県立病院と青森市民病院が統合され新病院が出来るのもこの取り組みなのかと思いました。

これからは、八戸市の圏域をさらに強くするためにも、近隣自治体とも更に連携を深めていくことが大事であると分かりました。

